

「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域
平成23年度 研究報告会

Y O K O V I S I O N
for Collaborative -80% Actions



総合討論

平成22年度中間・事後評価で 複数PJに共通にみられた指摘事項

■地域実践が先行し、脱温暖化の方法論化・理論化につ
ながっていない

※特に体制の不備が指摘された

■他地域への展開の道筋の提示、定量的評価の必要性

■研究成果を体系的に整理する必要性

■地域との関係、地域との共有のあり方への指摘

■その他

- ・法制度への批判で終わることなく法的整備への踏み込みを
- ・都市が持つ構造的課題など、そもそも論にも向き合う覚悟を
- ・プロジェクト終了後の具体的実現への道筋を

「気分的環境プロジェクト」を排するためのプログラムガイドライン設定

明確な目標設定のある
温暖化・気候変動対策の要求

Project

モデル化

地域主体形成の視点の共有